

お取扱いの手引き(お客様保存用)

ご愛用者の皆様へ

このたびは、当商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

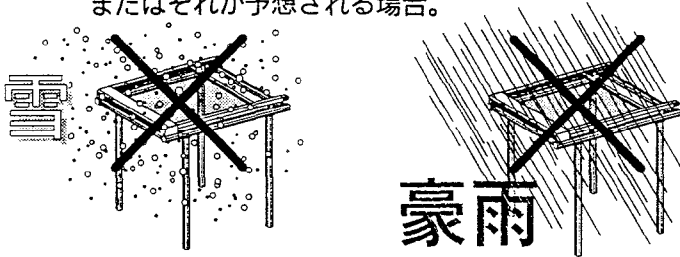
この説明書をよくお読みいただき、必ず正しくご使用ください。

誤ったご使用による故障・損傷あるいは事故等は、保証の対象となりません。また、ご使用者が変わられた場合は、この説明書をお読み頂くようご指導ください。

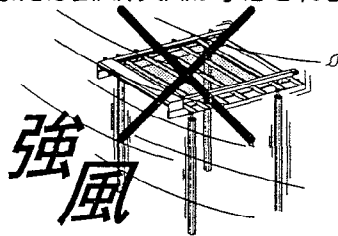
⚠ 注意

① 次の場合は、必ずキャンバスを巻取ってください。

(イ) 豪雪や降雪の時。  
またはそれが予想される場合。



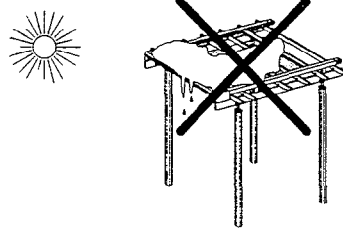
(ロ) 強風(10m/s以上)の時。  
または強風、突風が予想される場合。



(ハ) 夜間および留守にする場合。

② 雪や落ち葉がキャンバス上に積もってしまった場合は、これらを必ず除去してから巻取ってください。そのまま巻取りますと、キャンバス破損の原因となるばかりでなく、シェードの故障につながります。

③ 雨や雪、凍結等によりシェードに付着した水分が凍結している場合は、溶解するまで操作しないでください。また、ボトム材やキャンバスに水分が溜まったままの状態で作った場合、多量の水が流出するおそれがあります。周辺に十分注意して操作してください。



④ キャンバスにたるみがなく、ピンと張った状態にして使用してください。また、キャンバスのたるみが直らない場合や、万一水が溜まってしまう場合は必ず購入先に連絡し、調整してもらってください。

⑤ 手動式の場合、キャンバスが絶対に逆巻きにならないよう注意してください。異物を巻き込み破損の原因になります。

⑥ 全ての部分に対して(シェード)ぶらさがったりハンギング等は行なわないでください。

安全のために必ずお守りください。

この手引き書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者等が死傷する危険があることを表しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを示しています。

電動の場合の注意事項

⚠ 警告

- 送信機を落下または投げたりしないでください。開または閉の信号が発信されシェードが誤作動し、人にけがをさせるおそれがあります。
- 送・受信機を水に浸水させないでください。開または閉の信号が発信されシェードが誤作動し、人にけがをさせるおそれがあります。
- 送信機、モーター、電源部を分解しないでください。開または閉の信号が発信されシェードが誤作動し、人にけがをさせるおそれがあります。
- 送信機を加熱したり、火中に投入しないでください。電池が爆発して、人に火傷を負わせる恐れがあります。
- 電動ボックスやモーター部に故意に水をかけないでください。漏電し、人に感電する恐れがあります。

⚠ 注意

- 本体が作動中は、目を離さないようにしてください。

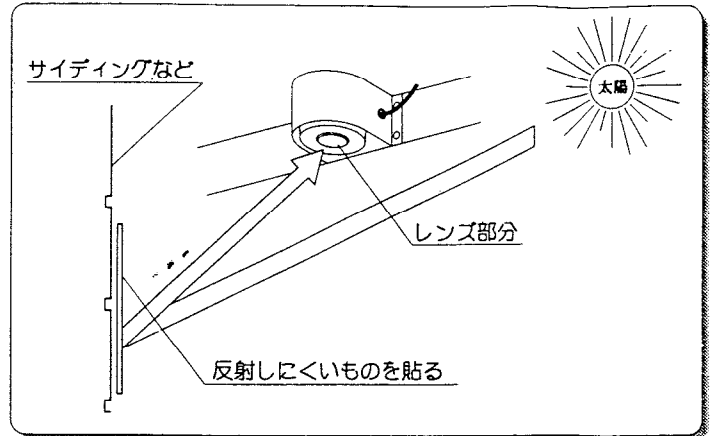
開閉操作時の注意事項

⚠ 注意

- 張り出す場合  
周囲の状況やシェードを張り出す部分に人や障害物がないか状況を十分確認してから操作を行なってください。
- 巻き取る場合  
キャンバス上に、雪や落ち葉が積もっていないか状況をよく確認してください。もし積もっている場合は、完全に除去してから操作してください。

## 取扱い上の注意

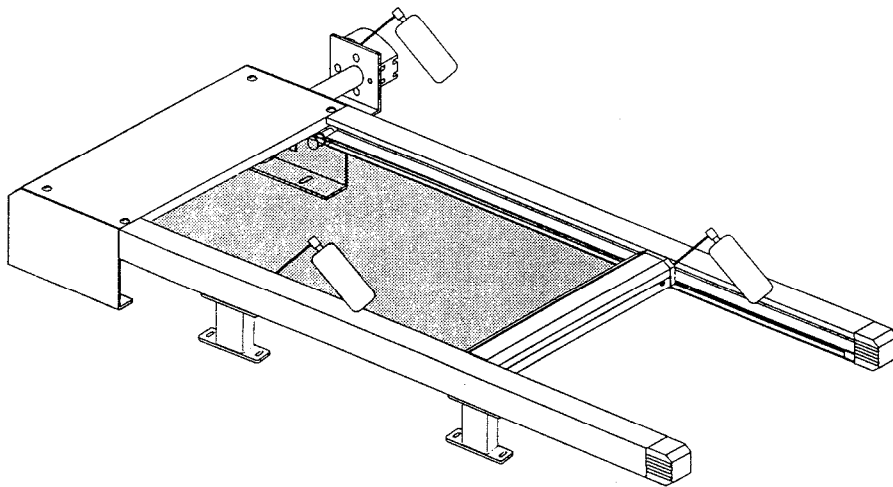
- 降雨・降雪・強風(10m/S以上)の時はキャンバスを巻き取ってください。
  - キャンバスのたるみや破れの原因となります。
  - リモコンの操作方法(電動タイプ)  
リモコンの送・受信機は赤外線方式になっております。操作する際は必ずリモコンを受信機に向けて操作してください。
- ※ 注意
- 受信部(魚眼レンズのような部分)に直射日光が入ると受信感が悪くなり動作しない場合があります。このような場合は受信機の真下で送信する、又は反射しにくい黒紙等を反射面に貼るなどして対処してください。
  - 受信機の近く(1m以内)でインバーター式の照明器具等が点灯中は動作しない場合がありますのでご注意ください。



## メンテナンス

(手動・電動共通)

- 動作中にキシミ音が聞こえるような場合はボトム材がスライドするレール面や巻き取りギア部などにスプレー式潤滑剤を吹き付けてください。
- キャンバスの汚れは水洗い又は、うすめた中性洗剤をスポンジ等に浸して洗ってください。その際、水で十分に洗い流してください。



(電動のみ)

- 受信機の受光部(魚眼レンズのような部分)が汚れた場合は、乾いた布で拭いてください。シンナーやベンジン等の揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
- 送信機や取付台の汚れは、中性洗剤を浸した布で拭き取ってください。

お願い

手動ギア又は、電動モーターは消耗品です。

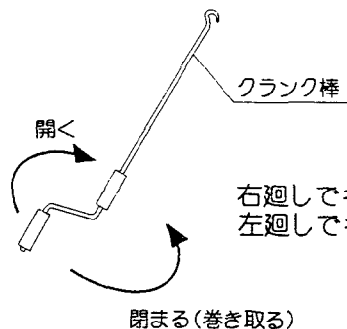
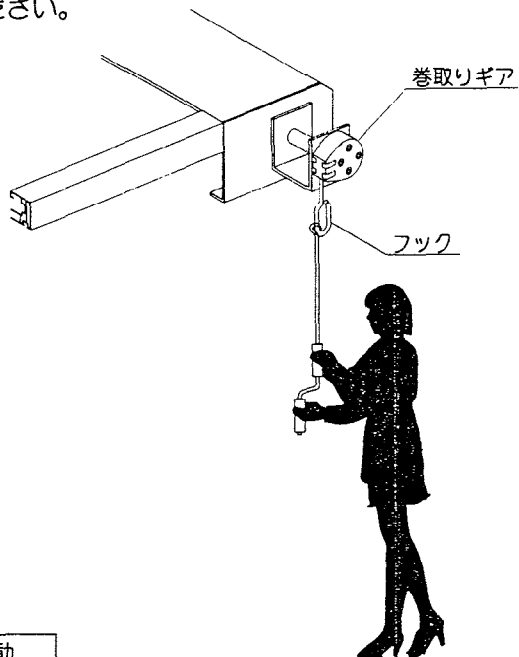
- 手動ギアの交換は、3年または3000回のどちらか早い方を目処に行なってください。
- 電動モーターの交換は5年または5000回のどちらか早い方を目処に行なってください。

※ なお、これはあくまでも規格品での標準的使用方法での目安であり保証値ではありません。

# 操作方法

## 手動

- クランク棒を巻取りギアのフックに差し込んで、クランク棒を廻すことによってキャンパスの開閉操作を行なってください。



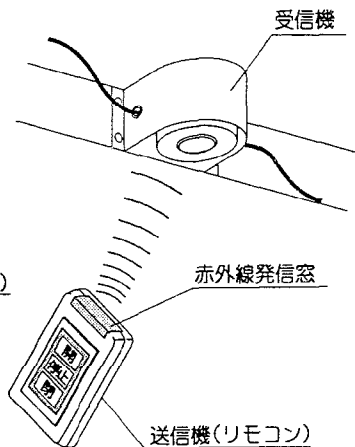
右廻しでキャンパスが出ます。  
左廻しでキャンパスを巻き取ります。

- ※ 注意  
開閉操作を行わない時は、クランクをフックから外してください。

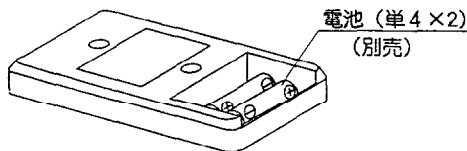
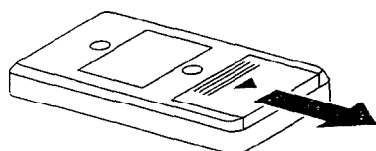
## 電動

- 操作はすべて送信機（リモコン）で行ないます。
- リモコン操作は必ずリモコンの赤外線発信窓を受信機に向けるように行ってください。

- ※ 注意  
連続して開閉作業を行ないますと、モーターの加熱保護機能がはたらき、モーターがストップします。これは故障ではありませんので10～15分位休んでから再操作を行なってください。



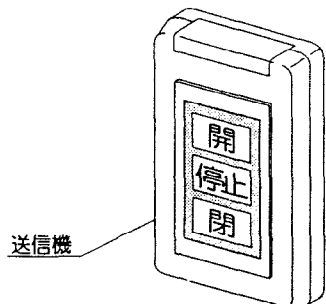
### 送信機の電池の交換



電池フタをスライドして外します。  
極性を間違えないように電池を入れて、フタをします。

### 交換の目安

開閉を1回として、5回/日の操作で電池の寿命はおおよそ1年です。



- 開 ボタン→キャンパスを開きます。
- 停止 ボタン→開閉中のキャンパスを停止させます。
- 閉 ボタン→キャンパスを巻き取ります。

- ※ 送信機（リモコン）は防水仕様ではありません。ご使用にならない場合には必ず家内等、雨水のかからない場所で保管してください。

主な仕様

ガイドレール、本体カバー ボトム材、巻き取りパイプ、他	アルミニウム押出形材
サイドカバー	ステンレスパネル
中間パイプ	ステンレスパイプ
キャンバス	ガラス繊維PVCコーティング (防災認定番号 ㊟-㊟-21370)
巻取ギア (手動タイプ)	アルミダイキャスト、ギア比6:1
クランク棒 (手動タイプ)	スチールメッキ仕上
モーター (電動タイプ)	定格トルク: 15 (Nm)、回転数: 50Hz=12rpm, 60Hz=14rpm 消費電流: 1.25A、消費電力: 125VA、保護等級: IP44
送受信機 (電動タイプ)	赤外線方式、動作範囲: 3m (最大5m、但し条件による)

保証書

- 保証期間 製品引き渡し日より1ケ年
- 保証規定 本取扱い説明書に従い、正常なご使用状態で保証期間中に故障した場合、無償で製品の補修を行なう。
- 保証の免責 原因が次に定める項目に該当する場合は、保証期間内であっても補修は有償となります。
  - イ. 当社のマニュアル通りの工事がなされていない場合。
  - ロ. 環境がとくに悪い場所などに設置されたもの。
  - ハ. 不当な修理や改造などによる故障および損傷。
  - ニ. 異常電圧などの外部要因による故障および損傷。
  - ホ. 機能上支障のない感覚的なもの。(音、振動、汚れ等)
  - ヘ. 自動車や飛来物および落下物など他の品物との接触による故障および損傷。
  - ト. 建物側の変形や地盤等の変動に起因する故障および損傷。
  - チ. 火災、塩害、高温、地震、落雷、および風水害などの天災地変による故障および損傷。

製品名: <b>e-システム「シェード」</b>	お客様名:
	ご住所:
引き渡し日:       年       月       日	販売店:
	(施工店):

お問い合わせ

- ◎ シェードの組立施工マニュアルの内容やその他アルミ部品の組立についてご不明な点は、下記支店または営業所にお問い合わせください。
- ◎ シェード本体の故障又は、ご不明な点は下記にお問い合わせください。

株式会社 協和興業 建築事業部 03-3800-5161

●ネットワーク 新日軽株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1  
(ゲートシティ大崎ウエストタワー)

お客様商品相談室  
フリーダイヤル 0120-37-2534

東日本エクステリア支店 03-5759-2211  
〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1  
(ゲートシティ大崎ウエストタワー-23F)  
・市場開発課 03-5759-2210  
・景観課 03-5759-2212

西日本エクステリア支店 06-6380-9275  
〒564-0052 大阪府吹田市広芝町4-34  
(江坂第一ビル1F)  
・市場開発課 06-6380-9275  
・景観課 06-6380-9281

九州エクステリア支店 092-482-8581  
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-9-11  
(山善福岡ビル5F)

札幌支店 011-219-7511  
東北住宅建材支店 022-297-3364  
北越住宅建材支店 076-237-0122

長野支店 026-224-2878  
埼玉支店 048-688-4156  
関東東支店 043-247-1251  
北関東支店 027-328-2881  
東京支店 03-5759-2216  
横浜支店 045-641-3381  
静岡支店 054-289-6117  
名古屋支店 052-731-1911  
大阪支店 06-6390-1331  
岡山支店 086-243-1243  
中国支店 082-544-4134  
四国支店 087-833-7611  
九州支店 092-712-8191  
特需営業総括部 03-5769-8033

●電話番号、住所は移転等やその他の理由で変更になる場合があります。ご了承ください。